

足立区地域経済活性化会議 第二部会

【議事要旨】

1) 日時・場所

日時：平成 29 年 8 月 8 日（火）15 時～17 時

場所：足立区役所 南館 13 階 大会議室 B

2) 出席者

有識者) 岡田部会員（部会長）、瀧野部会員

事務局) 足立区：島田課長、小林消費者センター所長、池田係長、鈴木主査

3) 次第

■ 検討事項

(1) 次期 足立区地域経済活性化基本計画の施策体系案及び施策案について

4) 配布資料

資料 1 部会員名簿

資料 2 席次表

資料 3 次期 足立区地域経済活性化基本計画の骨子

資料 4 次期 足立区地域経済活性化基本計画の章立て(案)

資料 5 計画の骨子から施策体系案を作成するにあたっての考え方

資料 6 次期 足立区地域経済活性化基本計画の体系案

資料 7 平成 29 年度第 1 回経済活性化会議 会議録要旨(案)

5) 参考資料

1 現行の足立区地域経済活性化基本計画（冊子）

2 区民消費・産業実態に係るアンケート等調査報告書

3 区政モニターアンケート調査報告書（案）

6) 議事録

【開会・挨拶】

島田課長から、「足立区経済活性化会議第二部会」開催に係る挨拶があり、岡田部会長から本日の流れについて説明が行われた。次いで池田係長から、資料3～資料6に係る説明等が行われた後、委員による意見交換が行われ、以下のような意見が出た。

【意見交換内容①】

岡田部会長： 施策案が3つあり、うち「消費者教育の推進と相談体制の充実」と「関係機関との連携による消費者被害の未然防止」に親和性があり、施策を分ける必要がないように感じる。

消費者センターの相談は、買い物の相談など非常に幅広い問い合わせに対応している。

今後、成人年齢の引き下げの議論があり、それを見越すと、教育委員会との連携をより強化した情報発信や消費者教育が必要ではないかと思う。また、中学校や高校に定期的に行くことができる仕掛けづくりができていければ。

出前講座を頻繁に行っているが、動画撮影して見せていくことができればより効率的に啓発ができるような気がする。

現状、施策案の一つに位置付けられている「区民ニーズに対応した商業地の機能づくり」は、柱立てとして、現在の柱立てでも良いし、「訪れたいくなるまちづくり」の柱立てでもどちらでもよいと感じる。

瀧野部会員： 出前講座は、動画よりも直接行って話すことに意味があるように思う。ただし、内容は変わっているが、手法はここ何十年変わっている印象を受けない。ロールプレイによる研修など。

消費という観点では、買い物弱者対策として、高齢者とまちの個店が繋がる仕組みがあればよいと感じる。また、商店街のフリースペース事業など、高齢者が集うことのできる場所があるのはとても大事なことと考える。高齢者同士の集いの中で、情報交換や情報共有が行われ、詐欺などの被害防止に寄与するのではと思う。高齢者が集える場所の提供は、消費者の友の会でもいつかやりたい気持ちはある。

消費者教育ということに関して、学校への啓発はもっと積極的に行うべきであると感じる。

島田課長より挨拶があり、閉会。

以上